盲目の歌手 パラ選手へ応援歌

栗山さん「リアルビクトリー」創作

盲目のシンガー・ソングライター栗山龍太(りょうた)さん(42)が、パラアスリートの応援歌『リアルビクトリー』を創作した。横浜市の盲学校教諭の傍ら続ける音楽活動の集大成で、全ての人間同士の理解と共生こそが勝利だと歌い上げる。歌への共感から、合唱や和楽器など分野を超えた音楽家が演奏。東京パラリンピックに向けテーマ曲に採用する団体も出てきた。

音楽フェスティバル「渋谷ズンチャカ!」で「リアルビクトリー」を歌う栗山龍太さんと盲導犬アンジー＝9月9日、東京都渋谷区

年の瀬になると、栗山さんは思い出す。中学3年のクリスマスに起きた「人生最高の出来事」を。大阪の児童養護施設で暮らしていた当時、慰問にきたジャズバンドが突然、栗山さんの自作曲を演奏してくれたのだ。「盲目の自分が書く曲でも心に届き、だれかを励ませる」。心が震えた。

相棒の盲導犬とステージに立ち始めて18年。師走も毎週末、コンサートやラジオ出演を続け、透明な声を響かせる。春に完成した応援歌も必ず歌う。

へ共に認め合えた時 それが僕らのリアルビクトリー

結びの歌詞に思いを込める。リアルビクトリー(本当の勝利)とは、「国籍や人種、障害の有無に関わらず、戦い抜いた人たちが勝ち負けを超えた先に出会う『共に認め合える』という心」と栗山さんはいう。

大阪で育った。3歳で緑内障がわかり入院が続き、その影響で小2の時に両親が離婚。症状は悪化し、頭痛と吐き気の苦しさから、小4で自ら眼球摘出を決断した。施設に入れられ、帰省も疎遠になったままだ。

支えは音楽だった。少年時代からピアノやギターを続け、曲作りに励んだ。周囲の支援や奨学金を得て筑波技術短大(当時)などで学び、横浜市立盲特別支援学校教諭に。2009年に結婚し、2児に恵まれた。10年にCDデビュー。収益は被災地などに寄付する。

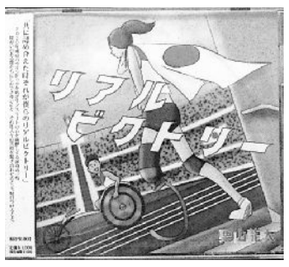
栗山さんは、パラリンピックについて、「五輪と区別し、健常者との壁を作っている」と考えていた。意義を悟ったのは昨秋。教えてくれたのは、教え子で陸上選手の清水由江さんだった。「パラリンピックがあるから私たちが輝ける場所があるんですよ」

驚き、不明を恥じた。「挫折を乗り越えて進むパラアスリートこそ、健常者に力を与えられる」。多くの人が身近に感じて口ずさめる歌にと、歌詞を半年かけて練り上げ、「リアルビクトリー」を今年4月に発表。ホールや街頭で弾き語りを続ける。

7月、横浜市の港南区民文化センターでは、約50人が三部合唱を披露した。金沢少年少女合唱団とOB・OGらの定期演奏会。指導した平井保・県合唱連盟顧問(76)は「詞が素晴らしく、合唱にするとスケールが効果的に広がる。何より栗山さんの情熱にみなが感動しました」と評価する。各地の合唱団が楽譜を求めているという。

NPO「絆プロジェクト2030」は東京2020大会組織委員会の認証を受け、パラリンピック応援イベントを計画。公式曲に「リアルビクトリー」を選んだ。永野秀樹理事長は「栗山さんは『障害者が健常者を助けるという考えを持っている』と語った。世の中全体への応援になると即断した」。千人の合唱団を作り、開会式で歌うことが目標だ。

栗山さんはいう。「障害がある僕たちだからこそできることがある。障害者の可能性を信じられる、世の一翼を担う存在だと認め合える社会を作りたい。僕の歌がその一助になれば」



パラアスリートをデザインした「リアルビクトリー」のジャケット。「現実の写真よりも想像や表現は広がる」とイラストを選んだ

「挫折乗り越えて進む姿 健常者の力に」

全国障害者スポーツ大会の横浜市選手団結団式で「リアルビクトリー」を歌って激励した後、選手と記念写真を撮る栗山龍太さん(前列中央)＝横浜市港北区鳥山町、横浜ラポール提供

和楽器・手話…コラボ次々

「リアルビクトリー」は様々な式典で演奏されている。9月、全国障害者スポーツ大会の横浜市選手団の結団式では、栗山さんが歌った曲を知った市職員が招待したという。選手や監督らがCDを福井県で開かれた全国大会に持参した。

栗山さんは、自分の歌唱と和楽器のアンサンブルも始めた。琴や尺八の音源を盲目の箏曲家の熊谷和子さんらの協力で制作。12月からコンサートで合奏している。パラリンピック開催中に、障害者による合奏で、世界中の人に和楽器文化を披露するのが目標だ。

手話の歌詞も完成した。栗山さんは手話に初めて挑戦し、ステージで歌と手話を交えて表現している。これまでは、耳の不自由な人が来ても名前すら聞けずにいたが、手話を見た人たちがSNSなどで連絡をくれるようになったという。「見えない人と聞こえない人は交流が難しかったが、歌を通して意思を伝えあえるようになれば」と話す。

リアルビクトリーの動画や和楽器の音源などは、公式ホームページ(https://kuriyama.agaru.jp/)で公開している。

ホテルロビーに歌声響く 横浜

今年で開業20年を迎えた横浜駅前の横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズの1階ロビーで24日まで、「クリスマス　ロビーコンサート」が開かれている。23日には金沢少年少女合唱団(横浜市金沢区)が登場した。

この日は約40人がジングルベルやアヴェ・マリアなど、クリスマスにちなんだ曲や賛美歌など10曲ほどを、ピアノやフルートの伴奏で披露した。集まった家族連れや買い物客ら聴衆は、曲が終わるごとに大きな拍手を送っていた。

24日は午後3時と午後4時半の2回、ゴスペルクワイア「クリスタル・ビーズ」の約20人が、5曲ほどを演奏する。同ホテル広報は「プログラムはよくご存じの曲ばかり。クリスマスの楽しいひとときを過ごしてほしい」と話している。問い合わせは(045・411・1111)へ。(山下寛久)

東関東大会に23チーム進出

県アンサンブルコン

第42回県アンサンブルコンテスト(県吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)が23日、県内の2会場であった。ハーモニーホール座間(座間市)では小学校と高校の部が、茅ケ崎市民文化会館(茅ケ崎市)では大学と職場・一般の部が行われた。

小学校の部からは6チーム、高校の部からは8チーム、大学の部からは2チーム、職場・一般の部からは7チームが来年1月26、27日に相模女子大学グリーンホール(相模原市南区)で開催される東関東アンサンブルコンテストへの出場を決めた。東関東大会に出場するのは次のチーム(数字は重奏の略)。

【小学校】横浜市立保土ケ谷(金管8)▽川崎市立南野川(打楽器6)▽相模原市立谷口台(木管8、金管8)▽同市立共和(木管8、金管8)

【高校】川和(木管8)▽横浜創英中高(金管8、クラリネット8)▽戸塚(金管8、管楽8)▽東海大相模(金管8、管打楽器8)▽三浦学苑(金管8)

【大学】神奈川大吹奏楽部(木管3、クラリネット4)

【職場・一般】Kanade Wind Armonia(木管5)▽Pastorale Symphonic Band(金管8、フルート3)▽グラール　ウインド　オーケストラ(クラリネット4)▽横浜ブラスオルケスター(サクソフォン4)▽ヴェントムジカオルケストラ(金管5)▽厚木シビックウインドシンフォニー(サクソフォン4)

横浜市立戸塚高校の金管8重奏＝座間市

さがみ野

横浜総局
〒231-8504
横浜市中区日本大通15
☎ 045-681-6101
fax 045-641-9696
mail kanagawa@asahi.com

厚木支局
〒243-0018
厚木市中町3-17-21
☎ 046-221-3300
fax 046-221-0827

相模原 ☎042-752-3150
湘南 ☎0466-26-4911
横須賀 ☎046-822-0211
鎌倉 ☎0467-22-0123
小田原 ☎0465-32-3822
平塚 ☎0463-35-3246
町田 ☎045-904-9010
川崎 ☎044-244-4306

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

0	横浜	0	
0	三浦	0	
0	海老名	0	
0	小田原	0	

横浜	北北西	海老名 北
三浦	北北東	小田原 東北東

湿度 50% 波 1.5m

気温	最高	最低
横浜	12度	6度
三浦	11度	6度
海老名	11度	6度
小田原	13度	6度

あす

横浜	北東	海老名 北北東
三浦	北北東	小田原 南東

湿度 50% 波 1.0m

12月25日(旧11月19日)

日出	6.48
日入	16.34
月出	19.27
月入	8.52

月齢17.8

潮

25日・中潮 横浜港

満潮	7.12
	17.58
干潮	0.21
	12.37

成分や原産国を検査する税関職員＝川崎市川崎区東扇島

鶏肉加工品の輸入 川崎港が全国1位

12年連続 物流倉庫増え

川崎港の2017年の焼き鳥など鶏肉加工品の輸入量と輸入金額が全国1位だったと、横浜税関が発表した。06年以降、12年連続1位。クリスマスがある12月は、鶏肉加工品の需要が特に高まり、川崎港でも輸入のピークを迎えているという。

税関によると、川崎港の17年の輸入量は約12万6千トン、金額は約663億円。需要の高まりによって、増加傾向にあり、今年も10月までで、前年同時期比で量は約4・5%増、金額は約2・9%増だという。全国的にも増加傾向で、17年は数量、金額とも過去最高を記録した。コンビニや量販店でサラダチキンや焼き鳥などの人気が高いことから、今後も好調に推移するとみている。

川崎港での鶏肉加工品の輸入は全国のおよそ4分の1のシェアを占める。首都圏にあることや、物流機能を備えた倉庫が多いことなどが要因に挙げられる。東扇島地区では近年、設備を備えた物流拠点の設立が相次いでおり、川崎港は冷蔵冷凍貨物の一大物流拠点となっているという。

鶏肉加工品の輸入元としては近年、タイが最多で、次いで中国。この2カ国で99%以上を占める。(大西明梨)